

立山山麓あわすのスキー場

索道安全報告書

栗巣野第一ペアリフト

栗巣野第二ペアリフト

登坂式ベルトコンベア「サンキッド」

令和元年度

点検整備中の栗巣野スキー場第1ペアリフト折返し滑車



特定非営利活動法人あわすの

2019 ~ 2020シーズン

索道安全報告書

2019～2020 シーズンは、過去記憶にない最悪のシーズンとなってしまいました。

12月21日（土）に安全祈願祭を行いました。全く雪はなく、寂しいオープニングとなり、以後1月いっぱい暖冬は解消されず、ゲレンデにはフキノトウを採る人まで現れる始末、1月はたったの1日も営業を行うことができませんでした。

1月の終わり頃に冬型が強まり、2月の1日ようやく下部ゲレンデのみ営業運転を開始、6日からやっと全面滑走可能となりましたが、これも長続きはせず、16日には再び積雪は0、その後若干の降雪により2号ペアリフトのみ細々と営業を続けましたが、2月24日をもって今年度の営業を断念いたしました。

当初54校が予定されていた県内各小学校のスキー学習も軒並みキャンセル、実施できたのは16校にとどまりました。

また、当初72日間を予定していた営業日数はたったの19日間、それも山下の第2ペアリフトが主で第1ペアリフトに至ってはたったの9日間の営業に終わりました。

当然のごとく、3月に予定していた各種のスキーレースやイベントもすべてキャンセル、そしてコロナウィルスの影響も少なからず影響を及ぼしたものと思われます。

営業収入は昨年度の23%止まり、当法人の存続そのものが危ぶまれるにことになりました。・・・しかしながらあわすのスキー場を思う方々の思いが一丸となって存続に向かうこと、そして組織も新体制となり、健全経営を目標に活動が再開されました。

当スキー場では、安全第一、法令厳守を念頭に安全輸送に努めており、職員一同気を引き締めて索道事業に携わってまいります。

本報告書は鉄道事業法に基づき、2019－2020シーズンにおける安全確保などについて自ら振り返るとともに、ご利用の皆様幅広くご理解をいただくために公表するもので、

これからも、皆様に安全で楽しんでいただけるスキー場を目指してまいります。

特定非営利活動法人あわすの

理事長 柿谷朔郎

基本方針と安全目標

経営理念として、安全の確保です。（安全基本方針）を次の様に掲げて、理事長以下役職員が周知・徹底をさせています

基本方針

1. 一致協力して安全遂行に取り組みます。
2. 安全輸送に関する法令及び規定を理解する様に努め、誠実に職務を遂行します。
3. 職務の実施にあたり、確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる
取り扱いをします。
4. 事故、災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を行ないます。
5. 常に安全意識を持ち、情報は漏れなく敏速正確に伝え、透明性を確保します。
6. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。

以上の基本理念を実行する為に、安全輸送の管理体制や索道施設の保守管理、運行の管理規定に記しており、これらは利用者の安全確保を目的とするものです。

安全目標

令和元年度－2年度 索道輸送安全目標は次の通りです。

区分	項目	目標
安全目標	設備不具合による事故	死亡につながる事故を発生させない
	人自傷害事故	無事故を目標とする

事故発生などの発生状況と再発防止について

1. 索道運転事故

令和元年度は、索道運転事故はありませんでした。

2. 災害（地震・暴風雨・豪雪）

令和元年度は、地震・豪雪による運行停止等はありませんでした。

輸送の安全確保のための取り組み

1. 人材教育について

職員の知識、技能向上を図るため、教育、訓練を実施しております。

2. 緊急対応体制について

毎年、シーズン営業開始前に、リフトの救助訓練、火災などを想定した消火訓練、避難等を実施しています。

3. 安全のための投資について

安全確保のため、年次的に整備計画をたて、これに基づき施設整備を行っております。特に営業前には入念に点検をして安全な運行に努めております。

安全管理体制について

理事長以下、安全管理体制を構築し各責任者の責務を明確にしています。

整備の実施について

春から秋にかけて整備点検を実施、また、シーズン中は1月及び2月にグリース

アップ、増締め等を実施しております。

外部点検について

・各リフト等索道の安全点検は、日本ケーブル株式会社 長野支店

12月～2月 3回点検実施

・電気設備点検は、北陸電気保安協会

毎月点検実施

利用者の皆様へ

特定非営利活動法人あわすのは、お客様の要望、期待に対応出来る様にサービスの

向上に努力していますが、今後も皆さまからのご意見ご批判を真摯に受け止めて、安

全で安心なスキー場を目指してまいります。

